

第24回世界スカウトジャンボリー（24WSJ）派遣 派遣員募集要項（第一次）

4年毎に開催される世界スカウトジャンボリーの第24回大会は、カナダ・メキシコ・アメリカの3カ国連盟共催により、2019年にアメリカ合衆国ウェストバージニア州サミット・ベクテル保護区で開催される。

派遣員は、この大会の期間中、世界スカウト機構（WOSM）に正式加盟している169の国と地域を代表するスカウトと野営生活を共にしながら親善交歓をはかり、様々なプログラムへの参加を通じて世界友情を築き、多くの国の参加者との国際交流と国際理解を深めると共に日本への関心と理解の高揚に努める。

また、2015年に日本で開催した第23回世界スカウトジャンボリーの経験を活かし、大会の成功に貢献する。

事業名称： 第24回世界スカウトジャンボリー派遣
(24WSJ: 24th World Scout Jamboree)

テーマ： 「新世界の扉を開こう」
“Unlock a New World”



派遣期間： 2019年7月21日（日）～8月5日（月）16日間（参加隊）
2019年7月19日（土）～8月6日（木）19日間（IST）
*航空便の事情により数日前後することがある

派遣先： アメリカ合衆国ウェストバージニア州サミット・ベクテル保護区

派遣人員： スカウト約900人 参加隊指導者100人、（25隊・1000人）
（予定） 派遣団本部員30人以内、国際サービスチーム員40人、合計1070人
（派遣人員・参加隊数は、地域性を考慮した隊編成を進めることで調整される）

派遣経費： (1) 派遣経費は、平成29年9月現在、次のとおり1人あたり約55万円が見込まれ、今後航空便等の手配、大会参加費送金等の後に確定する。

<1人あたりの派遣期間中の経費： 約46万円>

東京・シャロット往復航空運賃 約25万円

（平成29年7月同時期の東京発着エコノミークラス正規割引航空運賃の場合）

24WSJ参加費1275米ドル（約16万円） *US\$1275x125=¥159,375

大会前後の見学・移動・宿泊等（大会前後3日間）約4万円

大会期間中の隊装備等 約1万円

<1人あたりの派遣前後の経費： 約9万円>

国内移動・海外旅行傷害保険等 約1万円

派遣支給品 約2万円

出発直前準備訓練・壮行会 約3万円

隊経費（隊別準備訓練を含む） 約2万円

諸準備・資料・送料・日本派遣団提供プログラム・

業務委託経費等 約1万円



日本派遣団ホームページ

(2) 派遣経費には、服装・備品等に要する経費、派遣期間中の小遣い、準備訓練会場往復交通費等を含まない。これらは、個人の追加負担となる。

(3) 派遣員内定後、参加者負担金のうち1人16万円を所属の県連盟を通じて予納金として平成30年8月20日までに納入する。（詳細は別項参照）

派遣日程：（一例で数日前後する場合がある）

<参加隊・派遣団本部員>

- 2019年7月19日(金) 分団・隊毎に2泊3日間の出発直前準備訓練を行う
- 7月20日(土) 分団・隊別準備訓練、結団式、壮行会
- 7月21日(日) 各出発空港に移動し、空路アメリカに向かう（一部経由地あり）
- 7月22日(月) 隊毎に24WSJ会場に移動しキャンプイン（本部員同行）
第24回世界スカウトジャンボリーに参加
- 8月2日(金) 大会場を退去し、アメリカの各都市に向かう（ISTは8月8日）
- 8月3日(土) アメリカ各地の見学（ISTは以降1日遅れで同日程）
- 8月4日(日) 分団・隊毎に空路アメリカ発（一部経由地あり）
- 8月5日(月) 日本各地に到着し解散（出発と同じ空港）

<国際サービスチーム員（IST）>

- 2019年7月17日(水) 2泊3日間の出発直前準備訓練を行う
（業務内容により現地に直接集合する場合は、別途現地で訓練を行う）
- 7月18日(木) 準備訓練、結団式、壮行会
- 7月19日(金) 各出発空港に移動し、空路アメリカに向かう（一部経由地あり）
- 7月20日(土) 24WSJ会場に移動し、ISTトレーニング開始
- 7月22日(月) 第24回世界スカウトジャンボリーに参加
- 8月3日(土) 大会場を退去し、アメリカの各都市に向かう
- 8月4日(日) アメリカ各地の見学
- 8月5日(月) 空路アメリカ発（一部経由地あり）
- 8月6日(火) 日本各地に到着し解散（出発と同じ空港）

応募資格： 次の3区分により、それぞれの各項を満たしていること。

(1) 大会参加スカウト（ボーイスカウトおよびベンチャースカウト）

- ① 2001年（平成13年）7月22日から2005年（平成17年）7月21日までに生まれた者
- ② 2017年度（平成29年度）から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点において、1級章以上を取得している者（応募時点でこれを満たせない場合は、2019年（平成31年）3月末日までに条件を満たすこと）
- ④ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、かつ派遣団員としての行動がとれる者
- ⑤ 障がい児スカウト隊は編成しないが、障がいのあるスカウトの応募資格については、別途考慮するものとする。

(2) 参加隊指導者

- ① 2019年（平成31年）4月1日現在、満20歳以上の成人指導者
- ② 2017年度（平成29年度）から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点で隊指導者基礎訓練課程（平成25年度以前はウッドバッジ研修所）を修了している者（応募時点でこれを満たせない場合は、2019年（平成31年）3月末日までに条件を満たすこと）
- ③ 心身ともに健康で、長期の海外派遣に耐える体力がある者
- ④ 日常会話以上の英語語学力（英検2級程度以上）を有する者（配属SCで全指導者が毎日英語で行われる役務別打合会に出席し、日本隊に連絡する必要があるため）
- ⑤ 派遣団・隊指導者としての役務を果たし、またスカウトを指導するに適した経験と人柄を有する者
- ⑥ ①の年齢未満で③の要件を満たさない場合は、2001年（平成13年）7月21日以前に生まれ（大会開催時に満18歳以上）、ボーイスカウト講習会を修了し、かつ④以上の英語語学力を有する者（参加隊に英語語学力を有する指導者が不足する場合、女子スカウトを含む隊の女性指導者がいない場合に副長補の候補者となる）

(3) 国際サービスチーム員 (IST)

- ① 2001年(平成13年)7月21日以前に生まれた(大会開催時に満18歳以上の)指導者またはローバー・ベンチャースカウト
- ② 2017年度(平成29年度)から継続して登録があり、応募時点で隊指導者基礎訓練課程(平成25年度以前はウッドバッジ研修所)を修了している者(ベンチャースカウトを除く)ただし、24WSJで活用できる特技により応募するときは、特に認められれば隊指導者基礎訓練課程修了を必要としない(ベンチャースカウトはこの応募となる)
- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、国際サービスチーム員の業務を担当するに適した語学力(英語またはフランス語)・技能・経験と人柄を有する者

(4) 派遣団本部員 (一部公募)

- ① 2001年(平成13年)7月21日以前に生まれた(大会開催時に満18歳以上の)指導者またはローバー・ベンチャースカウト
- ② 2017年度(平成29年度)から継続して登録があり、応募時点で隊指導者基礎訓練課程(平成25年度以前はウッドバッジ研修所)を修了している者(ベンチャースカウトを除く)ただし、24WSJ日本派遣団で活用できる特技により応募するときは、特に認められれば隊指導者基礎訓練課程修了を必要としない(ベンチャースカウトはこの応募となる)
- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、日本派遣団の業務を担当するに適した語学力・技能・経験と人柄を有する者

派遣団の編成：

- ① 派遣団本部員は、日本派遣団参加隊へのサポートと派遣団提供プログラムを担当する本部員等、大会規定による本部人数枠を考慮し、24WSJ派遣実行委員会による目的に沿った人選を行う。
- ② 日本派遣団は、派遣団本部員(30人以内)、国際サービスチーム員(40人)、および参加隊25隊(1隊40人、計1000人)による編成を予定するが、隊編成については県連盟が推薦するスカウト数と地域性を考慮した調整を行うため、参加隊数の増減がある。
- ③ 参加隊は、1隊あたり参加隊指導者4人(隊長1人、副長3人)およびスカウト36人(1班9人×4班)で、可能な限り同一県連盟あるいは近隣の県連盟のスカウトにより構成する。
- ④ 女子スカウトが参加する場合は、所属隊に女性指導者を配置する。
- ⑤ 県連盟別スカウト数は、県連盟からのスカウト割当希望予備調査数を参考にし、実際の推薦数により調整を行う。
- ⑥ 参加隊指導者と国際サービスチーム員は、一部指導者を指名する他は、公募により選考を行う。
- ⑦ 国際サービスチーム員については、大会ウェブサイトでは仮申込が行えるが、主催者から各国スカウト連盟に対し、選考結果の確認がなされるので、本募集要項に基づく応募手続きを行い、日本派遣団員として内定されなければ参加できない。内定者は日本連盟を通じて大会参加申込手続きを行うので、ウェブサイトでは直接申し込む必要はない。

参加申込み・派遣員内定：

- (1) 参加希望者は、各々の組織を通じて、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。
- (2) 県連盟は、申込者を選考(面接を含む)の上、日本連盟に**平成30年6月20日までに**必要書類(指導者・スカウト別海外派遣参加申込書、健康調査書、県連盟面接結果通知書、いずれも所定の書式、各一通)を添え、推薦する。
- (3) 県連盟から日本連盟に推薦する人数は制限しない。ただし、2人以上を推薦する県連盟にあつては、**応募区分別**に県連盟の推薦順位をつける。

- (4) スカウトについては、日本連盟は県連盟の推薦を尊重し、県連盟から提出される「面接結果通知書」に基づき書類選考を行い、平成30年7月にスカウトの派遣員内定を行う。
指導者、ローバースカウトについては、別途選考を行う。
- (5) 国際サービスチーム員又は派遣団本部員への応募者は、(2)に示す必要書類に加え、「特技」(得意分野を含む)と「語学力」を示す文書(書式自由)を添付する。

予納金：

派遣員内定者は、参加者負担金のうち**予納金16万円を平成30年8月20日までに**所属県連盟を通じて納入する。予納金は、大会参加費等に充当される。

一端納入された予納金は、内定辞退があっても返金されないが、交替は別に定める期日まで認められる。

準備訓練：

派遣員内定者は、平成30年10月以降に日本連盟の行う準備訓練に参加しなければならない。

派遣員の内定と任命：

日本連盟は、派遣員内定者が準備訓練(隊・班訓練を含む)を終え、所定の手続きを完了した後に派遣員として任命する。

派遣員内定者は必要な予防接種(アレルギー等の事情がある場合を除く)を受けなければならない。また、参加隊指導者、国際サービスチーム員、派遣団本部員は、出発前に大会が提供するユースプロテクション(子どもの権利保護)等の研修プログラムを修了しなければならない。なお、国際サービスチーム員又は派遣団本部員のベンチャースカウトとローバースカウトは、大会が提供する研修プログラムに加え、日本連盟の「セーフ・フロム・ハーム」研修(Eラーニング)を修了しなければならない。

その他：

① 派遣の中止

以下の様な場合には、当該派遣が中止されることがある。

- 外務省による、渡航先国または地域への渡航延期勧告または危険情報の発出等
- 同、SARS・鳥インフルエンザ等の感染症情報の発出等
- その他、派遣実施に支障があると判断された場合

② 派遣参加における個人情報と写真・映像の取り扱い

- 参加申込みにあたりご提供いただいた個人情報は、派遣員選考と、派遣員内定後の相互連絡や名簿の作成、および派遣に関する情報の提供を目的として使用する
- 個人情報のついては、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い、派遣終了後には速やかに破棄する
- 派遣の記録用として撮影した画像、映像はすべて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属することとする
- 参加者の写真や映像は、日本連盟ニュース、派遣団報告書、ホームページ等の派遣の記録に使用するほか、スカウティング誌、各種パンフレット等のボーイスカウト運動普及・振興のために使用する場合がある
- 使用に際しては、できる限り個人の特定ができないよう配慮する

③ 第2次募集

第一次募集で定員を満たさなかった場合は、2018年(平成30年)9月上旬まで第2次募集を予定する。

この派遣に関するホームページ <https://www.scout.or.jp/24wsj/>

以 上